

地球の魔法使いの7日間上級トレーニングセミナー

チステルニーノ (イタリア)

シンクロトロン

講師：ヴァルム・ヴォタン

原文：<https://www.13lunas.net/seminarios/cisternino/index.html>

(注) 資料画像は推定して追加してあります。

7日目 999 999

NS. 1. 22. 2. 21 Kin 52

黄色い宇宙の人

月のサソリの月のシリオ 21日

フレイム 441

TFI 1047, BMU 165, KE 7

生きている虹: バイオソーラーテレパスの道としてのヌースフィア。
CREST13.テレパシー瞑想と宇宙の人

おはようございます。旅の終わりに到着したようです。キン 52、銀河スピンの最初の城である赤い城の最終日。黄色い太陽のウェイブスペル4の最終日、そしてこの素晴らしい信じられない、そしておそらく思い出に残るイベントの最終日です。

先に進む前に、呼吸のワークをしましょう。今日は7回の呼吸、そして3回の交互の呼吸を行い、それから7つのマントラを唱え、フレイムを3回で終わります。それによって私たちは宇宙と一体化します。

このセミナーの目的は、基本的に、シンクロトロンと呼ばれる特定のシステムを紹介することに関係しています。

この単語が13文字あることに気づきましたか？

そして、文字の値(A=1、B=2、S=19など)を見ると、それらの文字の値の合計は198です。198は11掛ける18です。文字数が13で、文字の値の合計は $11 \times 18 = 198$ です。(S=19、Y=25、N=14、C=3、H=8、R=18、O=15、N=14、O=15、T=20、R=18、O=15、N=14)

シンクロトロンは、神聖な精神的技術的全体性に関連する11次元システムから来ており、18は18次元の普遍システム(18系)に関連しています。

私たちが紹介しているシステム、シンクロトロンは、あるレベルでは心（マインド）の訓練システムと言えます。2012年のテレパシー介入に備えたマインド訓練システムです。

実際、太陽系全体と銀河系全体がエーテル状のメガ立方体に入りました。このメガ立方体を通過すると、私たちはこの地球上で立方体システム全体が活性化される2012年12月21日に相当する地点に到達し、周波数の調整を経験することになります。

言うまでもなく、これまでに誰も経験したことのないこの種のイベントに備えることが非常に重要です。何らかの準備をしようと努力することが非常に重要なのです。

ある意味、そのような種類の経験に近いものとしては、特定の幻覚物質の使用に見ることができます。私はそれを推奨するわけではありませんが、すでに使用したことがある場合は、思い浮かぶことがあるかもしれません。言い換えれば、例えば、初めてLSDやマジック・マッシュルームを試したとき、「え、ちょっと待って！ここにあるすべてが違って見える」と言う瞬間があります...あるいは、本物だと思っていたものがもはやすべて本物ではないと言ったこと。私たちはそのようなことについて話しているのです。

私たちはそれを全体・・・、何と呼ぶべきでしょうか、原子構造から精神構造に至るまで、惑星全体を浄化する電磁波周波数の全体として経験されるものと考えてことができます。

本当に、最善の準備は、心を完全に、すべて、本当に空っぽにして、ありのままを感じて流れに身を任せることです。そのためには、地球上の意識同期イベントや、ある種の受容性や統一性を達成する状態に達するために人々が実践するさまざまな種類の瞑想テクニックを準備し続けることも重要です。その特定の状態を維持し、視覚化などせず、ただその状態に留まり、何もかも手放し、何かについての考えも手放し、特にそれを体験するために「それがあり得ると思う」ことに関連する考えも手放してください。

シンクロトロンはこの瞬間に備えるためのメソッドであり、この瞬間にこの惑星のバランスを保っている多くの高等知性体も存在します。

ごく最近、英国国防総省は、空軍によって特定されていない物体について警告する長い文書を発表しました。そして報告された数千件の目撃情報のうち、合理的な説明が見つからないものが少なくとも10%あるという結論に達し、その結果、確かに空域に未確認物体が存在することが確認されました。

私たちはミステリー・サークルの存在も知っていますが、現代科学の観点からは直ちには説明が付きません。無視しようとする人もいますが、無視することはできません。高等知性体が一部の領域に、ますます複雑さと目的を持っていると思われる特定のシ

ンボルをテレパシーで刻印している兆候があります。

実際のところ、高度な知性体が私たちの惑星にますます接近しており、テレパシー通信センターを設立しようとしていると結論付けることができます。そして、彼らを使用する通信システムは、私たちが「数学的コード」と呼ぶものであり、私たちが紹介するシンクロトロン・システムに関連しています。

そして、13の月28日の共時性として私たちが知っているシステムは、通信の基本ハーモニック単位です。

第7前提条件は次のように述べています:

「銀河意識へのアセンションを始める私たちの惑星にとって、統一時間標準は、13の月28日周期のハーモニック・シンクロナイゼーションである。なぜならそれが比7と13の宇宙論の総合的な機能だから。最もシンプルで、最速かつ直接的な方法であり、3-7-21の宇宙のテレパシー言語システムを学習するための基礎を確立する。」

つまり、すべては13の月28日周期のシンクロメーターに戻ります。ですから、時間の法則やシンクロトロンの情報を提示するときは、まず13の月の暦から始めてください。

どの年でも、どの月も同じパターンを持つことは明らかです。4つの色は4という数学的コードであり、7日間のヘプタッドがあり、28日周期が13回繰り返されます。これは最も初歩的な数学コードであり、シンクロトロン・システムの基本プログラムです。

これが、13の月28日周期の暦が共時的で調和のとれた基準であり、その完全な目的が人類の精神周波数を変え始めることであると私たちが主張する理由です。私たちが知っている12:60の周波数から13:20の標準ハーモニック周波数へとジャンプするのです。

13:20の周波数は普遍的なシンクロ係数です。宇宙のすべてはこの調和定数「13:20」に従って同期されています。現時点での人類は13:20の周波数と同期しておらず、人類がこの可能性を無視したり否定したりする時間が長ければ長いほど、完全な破滅に近づくこととなります。

テレパシー介入を促進するために、13の月28日周期を基準とする13:20の周波数に従う人が多ければ多いほど、人類にとって良いこととなります。

それによって私たちは正しい周波数で意識の臨界量を作り始め、地球を安定させることになるからです。同様に、13の月28日周期のハーモニック基準へと飛躍することで、13:20の周波数との同期を安定させるための第一歩を踏み出します。なぜなら、私たちが2012年末の共振周波数のジャンプについて話すとき、それはこの文明の秩序を無効にし、抑制するという働きをもつ、システム全体を本質的に通過するための非

常に、非常に、非常に強力な 13:20 の周波数について話しているからです。

従って、テレパシー介入の主な目的の 1 つは現在の秩序を無効にすることであり、それはできる限り最も穏やかな方法で行われます。

人間は自分のしていることを自分自身ではやめないことが非常にはっきりと観察されます。気温の上昇、種の絶滅、バリアリーフの消失、森林破壊の継続、極冠の消失などの証拠があるにもかかわらず、文明を統治する人々はクレジットカードのことだけを話したいのです、ああ！カーボンクレジット！！そして、2050 年までに現在の汚染を取り除くことができるだろうと彼らは言います。そう、そのとおり、2050 年までに現在の汚染を削減する予定なのです。

ご存知のとおり、環境の指数関数的な悪化はさらに加速しています。実際には 2015 年までにすでに手遅れであるという証拠を見て、オープンマインドな多くの人々にとって、それはもはや明らかであり、そうした人々の多くは奇妙で預言的なマヤの日付を考慮に入れています。おそらくこれは、本格的にそれを阻止する必要があるというサインです。その瞬間を過ぎてからでは何をしても手遅れになるからです。いずれにせよ、私たちは今、最後の壁に直面していることが分かります。

あらゆる証拠を踏まえると、可能な人は何かを始めなければなりません。人類は水が船のブリッジに達するのを見て、全員に十分な救命ボートがあるかどうかを確認することしかできません。実際、私たちは地球規模の非常事態に陥っているのです。そのような状況の中で、私たちはもう一度言いますが、自分の人生に責任を持ち、常に合理的で、自分の庭を整え始めること、つまり、精神的汚染に加担しないように心を浄化し、他の人たちと参加してコミュニティを作り、自分の周波数を変えて 13 の月のスタンダード周波数に入り、すべての人を愛するといったことを継続的に推奨し、促進するために、自分自身をどのように変えることができるかを理解するよう努めなければなりません。ただひたすら、許すこと。私たちは皆、クローゼットの中に骸骨や我慢できない自分を抱えています。それらは私たちが許さなければならない対象です。なぜならそれらは私たちをどこにも連れて行かないからです。私たちが他人の中に見るすべてのものは、まず自分自身の中に見なければなりません。

この時点で、すべてをゼロポイントに戻す必要があります。時間はずした日は常にゼロに到達する練習のためにある時間です。

私たちはこう言います、最後のヘプタッドの後で…私たちはここでこの瞬間を持っています、ただすべてのものを手放し、みんなを許そうと、なぜなら明日が明けたら私は新しいサイクルを始めるつもりだし、誰もができるだけシンプルに、可能な限りクリアでききれいな状態で始めることを望んでいるから。

これはシンクロトロンメッセージに付随する、あるいはシンクロトロンメッセージに組み込まれた情報の一部です。

シンクロトロンの実践、数字やその他すべてのものへの魅了は、私たちが自分自身を浄化しなければ役に立たないので、自分自身を磨き続け、本質を発見すること、それが私たちがしなければならない主な作業になります。

内にある本質を発見することによって、私たちは純粋な子供を発見します。なぜなら、天の王国に入るのは純粋な子供だからであり、この言葉には途方もない真実があるからです。

シンクロトロンを実践し、一週間でヘプタッドの7つのゲートを開けていくと、最初の6日間で立方体が作られます。

6、6の二乗、6の三乗があるので、次のようになります。

6

$$6 \times 6 = 36$$

$$6 \times 6 \times 6 = 216$$

これは立方体サイン 216 の現れです。

カバラの伝統では、神の名前は 216 文字で構成されていると言われています。これは、神の名前の文字数を構成する 72 文字ずつ 3つのグループに編成されます。

また、プログラムでは 7 の逆数も知っています。

$$1/7 = 142\ 857$$

$$2/7 = 285\ 714$$

$$3/7 = 428\ 571$$

$$4/7 = 571\ 428$$

$$5/7 = 714\ 285$$

$$6/7 = 857\ 142$$

それぞれの数字の合計は 27 です

$$1+4+2+8+5+7 = 27$$

$$\text{従って、} 6 \times 27 = 162$$

そして最終日には、999, 999 という魔法の数字が得られ、その桁の合計は 54 になります。

$$\text{合計は } 162+54 = 216$$

従って、立方体は 7 のすべての逆数の合計であり、神の名の文字の数に対応します。

857, 142 までの最初の 6 つの数字は、創造の最初の 6 日間を構成する創造の可能性の

すべての順列を指します。

7番目、142,857x7 (1/7 x 7)を掛けると、この魔法の数が得られます。
999 999 は他の6つの数字とは大きく異なります。

最初の6日間は次のとおりです。

142 857 285 714 428 571 571 428 714 285 857 142 そして7番目 999 999

ある意味、それはマントラを唱えるときのようなものです。6つのマントラとオームマントラがありますが、それらは大きく異なります。

この意味で、オームは 999 999 のようなものですが、それ以外のマントラは他のマントラに対してそれぞれわずかな違いがあり、週の最初の6つの数字は同じ数字の並びの中にわずかな違いがあります。

これらの7つのマントラを唱えるとき：

最初のマントラ「フラーム (HRAM)」を唱えることで	285 714	2/7(ルートチャクラ)
「フリーム (HRIM)」を唱えることで	571 482	4/7(丹田チャクラ)
「フルーム (HRUM)」を唱えることで	857 142	6/7(太陽神経叢チャクラ)
「フラウーム (HRAUM)」を唱えることで	714 285	5/7(喉チャクラ)
「フラーハ (HRAHA)」を唱えることで	428 571	3/7(第三の目チャクラ)
「オーム (OM)」を唱えることで	142 857	1/7(クラウンチャクラ)
「フライーム (HRAIM)」を唱えることで	999 999	7/7(ハートチャクラ)

このように、単純なプロセスを通じて、あなた自身のシステムの共鳴、つまり7の宇宙論を創造または再創造します。7の宇宙論は原点に戻りつつあります。7の宇宙論は、永遠の失われた時間のインターバルに関連します。

創造の7日目に999 999に到達すると、私たちは永遠の失われた時間のインターバルをあがない、宇宙を渡ってきた過去の知性のすべての物語、レムリア、アトランティス、火星と失われた惑星マルデク…それらすべての物語が意識のレベルにもたらされます。それらはすべて創造の7日目に意識を取り戻し、すべてがあがなわれます。

2012年12月21日のその時点を超えると、創造の7日目に移ります。そして、その創造の7日目に、準備を整えた私たちは、新たな地球上の新しい天国の共同創造者になることができるでしょう。これはメキシコの伝統では第六の太陽意識の夜明けとして知られており、私たち自身の細胞構造が再生される段階に入っていることを意味します。共振周波数の変化点を通過すると、私たちの意識に至るまでの原子および亜原子

レベルでさえ、周波数が突如として変化します。

この意味で、私たちは再生を経験し始め、自分自身を通して新人類の誕生を経験し始めます。それは超人間、超精神的、超意識的な存在の誕生です。

1926年には、非常に興味深い出来事と思想家がありました。フランスの生物学者ピエール・テイヤール・ド・シャルダン、ロシアの科学者 V. I. ベルナツキーとラクロワがパリで出会い、言葉では言い表せない何かやってくることに同意しました。彼らは、これから来るものにヌースフィアという名前を付けることに同意しました。

彼らは、人類が地球の地質を改変したという認識を通して、また最終的な危機を引き起こしつつあるという認識や、その危機を乗り越えた後、地球と同様に、人類もヌースフィアと呼ばれる新しい進化状態に入るであろうという認識を通して、人類はすでに大きな影響を及ぼしていると見ていました。

地球の反対側、インドでは当時、最高のヨガ行者シュリ・オーロビンドが、「超精神的意識の降下」と呼ぶものを経験していました。

超精神的意識の降下は、ベルナツキー、シャルダン、ラクロワがヌースフィアとして言及したものと何ら変わりませんでした。

シュリ・オーロビンドと彼のパートナーであるマザーは、この理解のプロセスに熱心に取り組み、実際に超精神的な降下を体験し、体験しました。

このことについては、シュリ・オーロビンドの著書で読むことができます。『ヨーガの統合』『神の生命』では、人間の意識が「通常精神」から「超精神」に進化する過程が非常に詳細かつ網羅的に説明されています。

1950年に亡くなったシュリ・オーロビンドの心の中には、「どのようにして人類の集団に降下をもたらされるのか？」という疑問がありました。彼は、それが最初は小さなグループによって経験されるだろうということを知っていたが、それがどのように起こり、人類全体が経験するところとなるのかは分かりませんでした。

マザーはさらに約 20 年生き、超精神的意識の降下を受けたと主張したとき、実際には彼女の細胞構造は物理的に再編成されていました。特にマザー（訳注：ミラ・アルファサ）は、未来のモデルとなるコミュニティであるオーロヴィルの創設者でした。

多くの人がこの超精神的な降下がどのようにして起こるのか疑問に思っていました。シンクロトロン知性からすれば、それがヌースフィアの出現に対応していることは明らかです。そしてそれは完全な飛躍または変化と言えます。それは超意識の状態や超精神的意識の周波数が普遍的に利用可能になるような惑星、太陽、銀河的な飛躍です。しかし、それを受け入れるためには心を開かなければなり

ません。

シンクロトロンが2012年のテレパシー介入に備えた精神訓練システムである理由は明らかです。『知識の書』そしてシンクロトロンからの情報によれば、これは私たちの惑星だけで起こっているわけではなく、いくつかの銀河系でも起こっており、現在私たちが活動している宇宙全体には1,370万年の歴史があることが分かっています。

このようにして宇宙（ユニバース）全体が進化し、今、宇宙は次の進化段階を迎えています。これが起こると、宇宙のすべてのものは同じプロセス、つまり周波数の変化が生じます。そして、この変化または周波数のジャンプの後、私たちは超精神的な意識の周波数にアクセスできるようになります。

シュリ・オーロピンドも、これが単なる超精神ではなく、超精神的意識であることをよく理解していました。超精神とは、心は進化の一段階にすぎないことを意味します。超精神状態に入ると、超精神的存在のシステムは超精神を通して惑星意識へと降りてきます。

これが、立方体システムについて話すときの意味あいになります。立方体システムは、私たちが受信して認識できる超精神的意識状態への超精神的な降下です。意識は、惑星スフィアのさまざまな光点のつながりを通じて進化します。私たちは、ある光点をシュリ・オーロピンドと結び、またある光点をT・ド・シャルダンと結び、またある光点をババジと結び、また別の光点をメヴラーナと結びつけます。すべての最高の精神状態と存在はこのレベルに浸透しており、さまざまな方法で、これは何なのかを伝えることができます。

私たちがどの段階にいても、このトピックに関する情報は加速しています。情報の性質は常に包括的であり、他の光点と意識によって準備された他のすべての統合モードを含みます。私たちは排他的に働いているのではなく、全体性の完全な統合に取り組んでいるのです。

400は全体性に相当します。20x20であり、二十進法では1.0.0と書かれます。

441は全体性の単位です。全体性は完全な意識のない宇宙（ユニバース）を表します。全体性の統合とは、宇宙が意識を獲得したことを指します。

20の二乗である400と21の二乗である441の間の差は41であり、これは神聖なインターバル、つまり宇宙の全体性と宇宙の全体性の統合との違いを表しています。

シンクロトロン・システムの基本である21、21の二乗、21の三乗の数字は、二十進法表記システムでは次のように書かれます。
21は次のように書かれます。

• (21)
•

21 の二乗は次のように書きます。

•
• • (21x21)
•

つまり

• = 400
• • = 2x20 = 40
• = 1

これは非常に、非常に、非常に完全な象徴的コードです

21 の三乗、つまり 9261 を書くと、次のようになります。

•
• • • (21x21x21)
• • •
•

私たちは完全な象徴的コードを扱っています。

• = 8000
• • • = 400 x 3 = 1200
• • • = 20 x 3 = 60
• = 1

1 と 1 の 21

21 の二乗

そして、それから 21 の三乗

立方体には、もちろん 6 つの面がありますが、角(頂点)は 8 つあり、これは 441 を 441 と書くのに使用されるドットの数と同じです。これは、その本質、つまり瞑想できるドットへと絞り込まれたシステムなのです。

休憩しましょうか？

休憩前に、銀河研究所の小さなプロジェクトのために、ここにいる皆さん全員のプロフィールリストを作成することに非常に興味があります。では、皆さん、休憩中に紙を用意して、自分の名前、キン番号、グレゴリオ暦の誕生日、そして現在住んでいる場所、つまりどこからここに来たのかを書いてください。そして、心に浮かんだ言葉、考え、コメント、質問があれば、それを書き留めてレッド・クィーンに渡してください

い。

オーケー。では、数分後にお会いしましょう。

(オルガンのようなもので小さな歌を演奏する)

これは今日のハーモニックメロディの小片でした。毎日、異なるハーモニックメロディーがあります。441マトリックスでは、8つの数字ごとに1オクターブが作られます。最初のオクターブは1から8まで、2番目のオクターブは9から16までというようになります。441になると55オクターブが響き、441は56オクターブの「C」を表します。56オクターブの「ド」は始原のラングの響きです。『宇宙科学』に書かれているように、根源には音があり、その音は「ラング」でした。

ヘプタッド・ゲートは毎日私たちに音色を与えます。今日はヘプタッド・ゲート441で、56番目の「ド」に当たります。例えば、その日のベースマトリックス単位(BMU)を取得すると、今日は月の月の21日で、ベース・マトリックスでは44掛ける8のBMU352であることが分かります。非常に高い「ド」の音です。全音階には、順列の八乗に対応する8つの音があり、16,777,216(訳注:原文では16,777,206)通りの可能性が生まれます。

(遺伝子コード、シンクロニック・コード、マスター調整コード、BMUなど...周波数から音符を取得し続け、そして、対応する音符でメロディーを作っていく。)

週の累積周波数(この場合は6,121)を見ることも非常に興味深いです。今日はヘプタッド7の7日目、年の49日目です。441は49の9倍で、6,121は素数です。

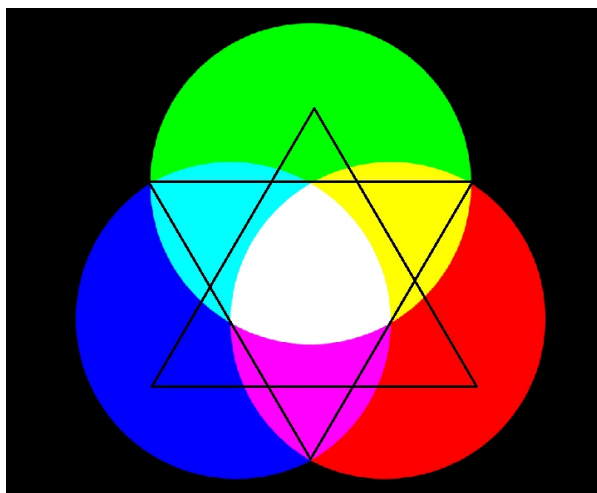
それで、このメロディーができました(歌が流れる)。携帯電話用にプログラムすることができます!それは毎日変化します。

これは、シンクロトロンに入り込むことによる無限の可能性の一つを示したものになります。日々には特定の音、独自のメロディーがあります。優れたキーボード(楽器)があれば、非常に興味深いメロディーをたくさん作ることができます。興味深い交響曲が全音階で作成できます。例えば、ロシアの有名な秘教主義者であるグルジェフは、全音階のみを使用していくつかの作品を作曲しました。彼はまた、オクターブの考えに基づいたアナグラムのシステムを持っていました。オクターブの主なポイントは4、7、8です(音符のことを指していると思われる)。

これらはすべて、 $T(E) = Art$ (時間によって因数分解されるエネルギーは芸術に等しい)を理解するためのものです。私たちが経験するすべての現象、すべての感情、思考、感覚などはさまざまな色や音に翻訳できます。そのようにして、私たちは宇宙のあらゆる可能性を検討することができます、それほど制約されることはありません。すでに述

べたように、全音階の順列は膨大な数の可能性(16, 777, 216)を与えてくれます。

色には原色と二次色があり、6の力を持つ六芒星を作り出します。すべての色を混ぜると白になります。私たちが宇宙で見るすべての色は、これらの色の混合です。



芸術を構成するエレメントはこれらの単純な数学的エレメントに還元できることが分かります。

例えば、八角形の「8」はスーフィーの伝統において非常に重要であり、オクターブ全体を意味し、宇宙秩序の構造を表しています。

今週のコドン48は 6×8 で、そのフレーズは「源泉への到達」です。そしてそれは、今日(調波13)を締めくくる二相コドンでもあります。そして、これが法則の立方体の16年間の64番目で最後のコドンであることが分かっています。そして、ここで私たちは「源泉への到達」の最終日、つまり回転の赤い東の城の最終日であるキン52を迎えています。そして、この7番目のヘプタッドの最終日、49日目です。従って、確かに、私たちはある種の情報源に到達しました。私たちは数の起源、時間の宇宙論の源泉に到達したのです。

私たちはまた、本当の源泉は私たちの心の中にあることに気づき始めています。数字の5は真髄(クインテッセンス)であり、7は立方体の中心へと導きます。そこで私たちは「物事の核心」に至るのです。

パドマサンバヴァの7日目のスローガンは次のとおりです。「私の役割は仏陀の行為を成し遂げること。私は地球の中心で心的電子・中性子を放出する。」では、心的電子・中性子とは何でしょうか？

「心的電子・中性子」とは、一次極性を形成する一次電子と中性子をあなたが取り込み、自然を純粋に心的な現象として認識していることを意味します。あなたはそれらを取り出して地球の中心に持ち込み、ハートを安定させ、南極と北極を結ぶ巨大な心的電子・中性子を作り出しています。しかし、それをハートの中に置いたままにし、

両極に向かって伸びるようにします。それが地球を安定させるための慈悲の行為であるため、「仏の行為を成し遂げる」と言われるのです。

「全人類と地球のために、自分にできる最善のことは何だろうか？」と問うのはどうでしょう。実際、私たちは常にこのことを考えているはずで、人類と地球に最大限の利益をもたらすために、私はどのような行いが実行できるだろうか？この思いは常にあるべきです。私が今やっていることは、どのような意味で役立っているのだろうか、それとも役立たないのだろうか？これが私たちが変わる唯一の方法です。なぜなら、誰もが自分を霊的に怠惰にする習慣的な傾向を持っているからです。しかし、本当に最高の人々と協力しているのであれば、私たちは常に自問しなければなりません。「これはどのようなメリットがあるのだろうか？それは地球全体に利益をもたらしているのだろうか？」

私たちが心的電子・中性子を地球の中心部に放出すると、虹の瞑想が可能になります。その瞬間、あなたはこう言います。「そう、今この瞬間、私は心的テレパシーを受けており、両極を安定させるために地球の中心に私のマインドを送ります。」これによってあなたは、地球の中心から表面に伝わるより多くのハーモニック・バイブレーションを生成します。虹の橋の目的は、より高次の調和が存在し、人類がその調和の創造に参加できることを誰もが認識することにあります。これは心的電子・中性子に関連しています。

今日のプログラムの最後のボックスには、シリウスBのシンボルがあります。



私たちは宇宙を見つめるアンテナや受信機を目にします。情報を統合するチャンネルです。宇宙の安定を確立するために、情報を整理し、それを三次元に送信する幾何学的形状(例えば、この惑星をここに配置する)。これはシリウス星評議会のシンボルです。ここでは、シンボルの上部に 21、中央に 441 (21 の二乗)、そして下に 21 の三乗が示されています。従って、シンクロトロン・システム全体がこのシンボルに統合されています。シリウス α 星を中心に回転するベータ星であるため、シリウスBとも呼ばれます。このシンボルは、数字 52 の二十進法表記です。今日はキン 52 で、今月の第 21 日でもあります。そのため、シリウスのコード 52 とコード 21 が完全に統合されています。また、それは「エレメント 113」とも呼ばれます。64 個のウル・ルーンと脳梁の周囲に位置する新しいルーンである 48 個のハーモニック・ウル・ルーンがあり、合計すると 112 になります。このことからエレメント 113 という名前が付けられています。

二十進法では、20の5倍は100で、13を足すと113になります。キン113は赤い太陽の空歩く者で、音9と紋章13です。

これはシンクロトロンで送信されたシリウスコードです。これは非常に凝縮された情報であり、研究する際には熟考するように作られています。私たちがこの中心点にいるとき、ヘプタッドの7日目の座標はV11, H11です。11×11、または11の二乗は121で、これを441に書き写すと1.2.1になります。

私たちは、すべての次元と接続する、特にこの場合は立方体システムの起源である11次元と接続する中央チャンネルの純粋な共鳴に私たちを開く合成情報を扱っているのです。

この情報はすぐに受け入れられる人もいれば、「私には多すぎる」という人もいます。あなたが知っておく必要があるのは、あなたが7のプログラムに従っていること、そして私たちが13の月のシンクロロジーを送信し伝えているということだけです。

7の三角数は28であるため、13の月の暦のハーモニック・スタンダードは、最も単純な調和の法則の関数なのです。これが私たちが人々に見せることができるものです。

次に、13の三角数が91であることを示すことができます。これでプログラム全体が得られます。重要なのは、人々が4つの色、4週間、7日で構成されるカレンダー・プログラムを見て、それが非常に単純な数学的コードを通じて伝達される高次の意識の機能であることを理解することです。このアイデアは理解できないように思える人もいるかもしれませんが、ここではすべてが非常に単純な形で示されています。創造の最も初歩的かつ基本的な法則は、これらの単純な数学的コードの関数として示されるのです。

対数スパイラルの中に7と13が見られました。ウェーブスペル全体を構成する13は、7番目の項です。これは自然の形態にも見ることができます。そして、21に達すると、それは常に次のウェーブスペルの8番目になります。

これらはシンプルかつ基本的なポイントです。これらすべては、私たちの心と魂の中にある、本来の本質的な点から来ていると理解できます。手足は4本、指は20本、主要な関節は13個あります。従って、実際に数字を踊ることができるのです。

私たちは古い秩序を放棄し、理解の最もシンプルなエレメントに立ち戻ります。私たちに世界を再構築する機会が与えられているのです。これらのシンプルなコードを通じて、私たちはマインドの再生のためのツールが与えられています。こうして私たちは芸術的に世界を改革することができます。これをより早く行う人もいるでしょう。それはホロマインド・パーシーバーとは何かを理解する人たちです。ホロマインド・パーシーバーは完全に441コードに基づいています。すべては私たちのマインドの中にあり、すべては私たちの脳に刻み込まれており、すべてはテレパシーによって脳梁

に刻まれています。

ここに精神的スフィアがあります。第7精神スフィアは第9時間次元の中に組織されます。第7精神スフィアはホロマインド・パーシーバーであり、その機能は意識を放射化することです。これが私たちが全方向の気づきを開発する方法です。こうして意識は高度に進化したヒトデの一種へと変化します。放射状に伸びたヒトデ、それは「放散虫」と呼ばれる生命体の一種を表しています。

進化がここまで到達したのは、「上下、前後、左右」などの一種の二元性を作り出したことによるものです。しかし今、私たちは新たな進化段階に到達しており、その第一段階は「上下左右」などの統合です。私たちがこの両極を一つにすれば、それ以上の分裂はなくなり、殺し合いも戦争も起こらなくなります。

私たちが自分自身の中に完全に平和を達成し、嫉妬も競争も羨望もなくなり、その可能性すらなくなったとき、私たちは放射状の意識を体験し始めます。なぜなら、私たちの意識は球体のように成長し始め、意識はますます地球に似てくるからです。

私たちの感覚は現象を球体から来たものとして体験し始めるでしょう。そして、私たちが宇宙文明の宇宙意識においてますます進化するにつれて、私たちは自分の思考を宇宙のさまざまな点に送る方法を理解するでしょう。そして突然、自分たちが地球に二元性から抜け出す方法を教えているサバイバル・グループの一員だということに気づくのです。

これは無限で、果てしのないものです。菩薩の誓いを立てるとき、意識は無限であることを知り、すべてを照らすことを誓います。

コーランには、進化においてどのようなレベルを知っていても、さらに高いレベルが常に存在すると述べられています。

さて、ここで紹介したのはほんの一部です。少しでも学ぶことができれば、素晴らしいものになるでしょう。

ありがとう。

そうそう！いくつかのことがあります。クレスト13に興味を持っている人がたくさんいるので、ウェブサイト www.noosphereforum.org を開設し、そこでクレスト13の対話を行うことにしています。数週間以内にオープンしたいと考えています。（訳注：現在のサイトは <https://www.crest13.org/index.html>）また、ここで起こったことに対して多くの人々に感謝したいと思います。

通訳のアントニオとアニバル、このババジ・アシュラムの方々、このようなイベントのために扉を開いたという単純な事実は、彼らについて多くを物語っています。また、

あらゆる面で大きな助けとなったイシュランとアサンにも感謝します。レッド・クイーンにも感謝です。そして、私たちが直面してきた旅、理解するための努力、ここまで来て、このような「心が折れるような旅行」に参加してくれた皆さん、本当にありがとうございます。昨夜のイベントのダンサーさんたちにも感謝します。

踊ることで数字を目覚めさせることができ、可能性は無限であることを覚えておく必要があります。昨夜、その素晴らしい実例がありました。

皆さんに感謝し、火の儀式に進みます。ありがとうございました。